

競泳競技規則・競技役員（競泳）手引き 第2刷 訂正

目次

XI 書式⑨ World Aquatics マーク剥離による～ → **世界水泳連盟マーク**

規則

p.1

(JASF: Japan Swimming Federation)

• Swimming → **Swimming**

p.3

①～競技の開始を～

• 開始 → **開始**

p.8

12 記録主任

• (2.1) → **(2.12)**

p.10

第3条

6 10レーンを使用できるプールでは、決勝進出において、リレーを含む400m以上の種目において8位が同タイムの場合は、8レーン、9レーンを使用することができる。8位に同タイムが3名（チーム）いる場合は、8レーン、9レーン、0レーンを使用することができる。レーンの配置は抽選で決定する。4人（4チーム）以上の同タイムの選手（チーム）に対しては、予選、準決勝ではスイムオフまたは抽選を行う。(3.1.1.7)

→ **決勝進出について、10レーンを使用できるプールでは、リレーを含む400m以上の種目において8位が2名（チーム）の場合は、8レーン・9レーンを使用することができる。8位が3名（チーム）の場合は、8レーン・9レーン・0レーンを使用することができる。レーンの配置は抽選で決定する。4人（4チーム）以上の同タイムの選手（チーム）に対しては、スイムオフまたは抽選を行う。(3.1.1.7)**

p.18

第10条

16 ～予選のときは次以降の組に出場させ、予選最終組、B決勝・決勝～

→ ～予選のときは次以降の組に出場させ、~~予選最終組、~~B決勝・決勝～

「予選最終組、」を削除

p.22

第14条 水着等

3 競泳競技の場合 男子の水着はへそから上。ひざから～

→ **競泳競技の場合、男子の水着はへそから上、ひざから～**

p.25

第17条

1(4)

④ 互いに隣接する～その直径は10cm上15cm以下で～

→ **10cm以上～**

手引き

p.81

リゾリューションデスク

⑨（注1） スイムオフは競技規則第3条10に従って実施する抽選は記録員が審判長の立ち合いで実施する。

→ スイムオフの決定や抽選は、審判長と記録員で実施する。

p.100

(2) (一社) 日本マスターズ水泳協会

→ (一社) 日本マスターズ水泳協会 ※半角()に。

p.102

書式①

背泳ぎ 6.1 の下の囲み

バックストロークレッジを使用した際、タッチ板に両足のつま先が触れていなかった

→ バックストロークレッジを使用した際、両足共、少なくとも一本の指がタッチ板に触れていなかった。

書式⑨

World Aquaticsマーク剥離による～ → 世界水泳連盟マーク剥離による

World Aquatics承認番号 → 世界水泳連盟承認番号

右下 公益財団法人日本水泳連盟 (202304) → (20230401)

p.115

資料①

競技役員のプロプログラム記載例

折返し監察員 → 折返監察員 ※ 第2刷でも未修正です。申し訳ございません。

ドーピング監察員 → 削除

ドーピングシャペロン → 削除

p.119

資料③ 附則 4 本規定は～3月11日より → 4月1日より

p.122

資料④ 附則 2 本規定は～3月11日より → 4月1日より

p.128

資料⑤ 第20条

つぎのとおりとする「表」を削除、「競技会毎に競技委員会においてさだめる。」に訂正

→ すべて削除

附則 3 本規定は～3月11日より → 4月1日より

p.136 資料⑦

附則 8 本規定は～3月11日より → 4月1日より

p.137 資料⑧

22行目 第4条 3 世界水泳連盟 (WA GR規則) の
世界水泳連盟 (World Aquatics Competition Regulation I) の

p.138 附則 3 本規定は～3月11日より → 4月1日より